



双塔

カトリック新潟教会

2017年1月
No. 344

ベツレヘムの星（ご公現の祝日）

新潟教会協力司祭 鎌田耕一郎

「導きの星」「お生まれになったユダヤ人の王」（マタイ2・2）を探し求めて東方から来た“博士たち”は、占星家または天文学者を意味する“マゴス”の訳である。6世紀頃から王であると考えられるようになったが、これは詩編（71・10）に基づくものである。博士たちが3名であるといわれるのは三つの捧げ物からの推定であり、4人目の博士にまつわる伝説もある。勿論、名前は分からない。現在用いられるガスパル、バルタザール、メルキオールという名は九世紀頃につけられたらしい。聖書の中で、東はペルシャを意味することが多いので、教父たちは、博士の故郷はペルシャであろうと述べている。

あの星は、神に導く内的照明のシンボルである。神のご計画、私たちの性格や生活環境、様々な出会いなどに応じて多彩な光を投げかけ、人はみな、永遠の救いに招かれる恩寵の時を与えられるのである。更に、あの星は神を求める旅へと招き、決断させるのである。

だが、星は博士たちが見失ったように、心の大空に常に輝き続けるわけではない。光のない試練の夜をよぎらねばならないだろう。そして、いつか最後の照らし、最後の恩寵というべき時が訪れるにちがいない。星の光を仰いだものは、ためらうことなく、心の愛の黄金と、信仰のかぐわしき乳香と、生活のながみである没薬を携えて旅立たねばならない。

「東の星」（ウエルネル-ケラー“歴史としての聖書”の参考・要約である）

その時起った天文現象が、極めて目立つ独特のものであったことは聖書に記されている。このような現象は、流星を別にすれば二つの場合しか考えられない。一つは彗星、他は新星である。彗星は天空に長い光の尾を引き、新星は膨大な質量が原子爆発で燃え落ち激しく輝くもので、ともに珍しいものなので必ず何かに記録されている。だが、キリストご誕生のころ、地中海岸の世界では、それに関するいかなる古記録も伝説もない。

しかし、同経線上の二つの遊星が近づく「相合」という現象がある。時には非常に接近して、まるで一個の大きな輝ける星のように見えることがある。学者の計算によれば、木星と土星は紀元前7年に魚座の中で三度出会っているのである。5月29日に第一回の「相合」があり、第二回は10月3日であった。5月のメソポタミヤはすでに暑熱で、困難な砂漠の旅には適していない。10月3日がユダヤ人の贖罪日だという事実が一つに啓示となって、この時に旅に出たものと思われる。

ラクダの旅がエルサレムまで、最低6週間かかることを考えれば、博士たちは11月の末に到着している。しかし、星は見えなくなりヘロデにたずねるのである。ヘロデは予言者ミカヤ（5・2）の言葉に従って彼らをベツレヘムにつかわすのである。

12月4日に、木星と土星はみたび魚座の中で会い、彼らはその星を見て喜びにあふれたのである（マタイ2・9）。キリストのご降誕が西暦紀元前4年以上であることは、ヘロデの死の年（前4年）から明らかだから、この天文学的事実は考慮に値するものであり、不思議な星の物語は自然科学的にみても、荒唐無稽（こうとうむけい）ではない。

そよかせ便り

■ 待降節黙想会 ---- 11月26日(土)、11月27日(日) ----

「今のところ、ナジ神父様と仲良く暮らしています」とユーモアを交えて始まった黙想会は会場から笑みがこぼれた。指導司祭のスタン神父様は見附・栃尾教会の主任司祭で、ポーランド出身の神言会司祭。以前は横手教会(秋田)で働いておられたことも。初日は「待降節——神を待ち望む」のテーマで、洗礼者ヨハネにスポットを当て、マタイ3・1-12など聖書の箇所を朗読。参加者は朗読や神父様の言葉に耳を傾けながら「待ち望む」ということ、「待ち望むに値するもの、即ち神のことばを待ち望むということ」について思いを巡らした。翌27日には「聖書とシスターファウスティナの日記によるゆるしの秘跡」をテーマに、同じく洗礼者ヨハネの招きから出発。聖ファウスティナが体験した神のいつくしみと、人はそれをゆるしの秘跡を受けることによって体験することができることや、共産主義政権下で厳しい迫害を潜り抜けてきた歴史を持つポーランドで司牧に従事していたイエズス会司祭を支えた「神には何でもお出来になる」という確信などを紹介された。後日、参加者の一人は「分かりやすいお話で、とても癒されました」と話していた。

みんなの広場

今月の“各部の紹介”は『国際協力部』です。

わが新潟教会でも、さまざまな国の外国出身信徒が訪れてくれるようになりました☆
国際協力部では、以下の活動をしています。



英語ミサのお手伝い(毎月第1日曜日)

ミサの典礼・聖歌のプリントの準備、英語版「教会のおしらせ(月刊)」の作成、
聖歌の伴奏(今はギターが中心です)、ミサ献金の集計 など



信徒交流の場の提供 ~茶話会~(毎月英語ミサ後)

茶話会の準備(お菓子・飲み物の買い出し、お茶の準備)
外国使徒と一緒に、おトイレ掃除!



その他の活動

- *国際フレンドシップバザー *支援献金の呼びかけ
- *日本語英語合同ミサ時の朗読、共同祈願、聖歌 などの準備 etc...

2017年度 新たな取り組み 決定! 2017年度総会で発表

外国人と仲良くなりたい方、特に語学に興味のある学生さん!
ぜひ、一緒に活動してみませんか?

ちなみに、現スタッフのほとんどは、英会話は得意ではありませんので、あなたも大丈夫☆彡

